

運用報告書（全体版）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年9月30日から2021年8月10日まで	
運用方針	①主として日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。 ②アジア通貨で為替取引を行います。	
主要投資対象	りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース	投資信託証券
	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4） ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）	アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
	マネーパールマザーファンド	わが国の公社債等
	りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 デリバティブの直接利用は行いません。 株式への直接投資は行いません。
主な組入制限	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4） ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）	有価証券の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 投資信託証券への投資は行いません。
	マネーパールマザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得したものに限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。
	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース

第95期（決算日	2019年9月10日）
第96期（決算日	2019年10月10日）
第97期（決算日	2019年11月11日）
第98期（決算日	2019年12月10日）
第99期（決算日	2020年1月10日）
第100期（決算日	2020年2月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドアジア通貨コース」は、このたび第100期の決算を行いましたので、第95期～第100期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社は、2020年4月1日に商号をSOMPOアセットマネジメント株式会社に変更します。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<https://www.sjnk-am.co.jp/>

お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の正式名称については後掲「■主要投資対象の投資信託証券の概要」をご覧ください。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債組入比	債券 利率	投資信託 組入比	純資産 総額
		税金	込配	み金 期騰 落				
	円		円		%	%	%	百万円
71期(2017年9月11日)	6,555		50		△0.7	0.9	95.9	17,879
72期(2017年10月10日)	6,642		50		2.1	0.8	97.6	17,433
73期(2017年11月10日)	6,688		50		1.4	0.9	96.2	17,044
74期(2017年12月11日)	6,603		50		△0.5	0.9	97.7	16,533
75期(2018年1月10日)	6,663		50		1.7	0.9	96.3	16,470
76期(2018年2月13日)	6,295		50		△4.8	0.9	97.1	15,384
77期(2018年3月12日)	6,129		50		△1.8	1.0	97.3	14,911
78期(2018年4月10日)	6,058		40		△0.5	0.8	96.0	14,647
79期(2018年5月10日)	5,894		40		△2.0	0.9	97.2	14,020
80期(2018年6月11日)	5,857		40		0.1	0.9	97.1	13,574
81期(2018年7月10日)	5,638		40		△3.1	0.8	95.9	12,917
82期(2018年8月10日)	5,699		40		1.8	0.8	97.3	12,840
83期(2018年9月10日)	5,496		40		△2.9	0.6	96.3	12,197
84期(2018年10月10日)	5,477		40		0.4	0.8	96.7	11,868
85期(2018年11月12日)	5,595		40		2.9	0.9	96.2	11,947
86期(2018年12月10日)	5,599		40		0.8	—	96.3	11,746
87期(2019年1月10日)	5,434		40		△2.2	—	96.2	11,211
88期(2019年2月12日)	5,592		40		3.6	—	96.8	11,301
89期(2019年3月11日)	5,649		40		1.7	—	96.1	11,254
90期(2019年4月10日)	5,763		40		2.7	—	96.5	11,303
91期(2019年5月10日)	5,616		40		△1.9	—	95.7	10,838
92期(2019年6月10日)	5,555		40		△0.4	—	96.4	10,601
93期(2019年7月10日)	5,608		40		1.7	—	95.9	10,518
94期(2019年8月13日)	5,310		40		△4.6	—	96.9	9,797
95期(2019年9月10日)	5,351		40		1.5	—	97.0	9,826
96期(2019年10月10日)	5,342		40		0.6	—	96.0	9,657
97期(2019年11月11日)	5,499		40		3.7	—	95.9	9,731
98期(2019年12月10日)	5,461		40		0.0	—	95.9	9,459
99期(2020年1月10日)	5,587		40		3.0	—	96.7	9,457
100期(2020年2月10日)	5,561		40		0.3	—	96.4	9,252

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり(以下同じ)。

(注3) 債券組入比率はマネー・プールマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 投資信託証券組入比率は「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス4)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス4)」の組入比率。

(注5) 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス4)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス4)」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	率		
第95期	(期 首)	円		%	%	%
	2019年 8月13日	5,310		—	—	96.9
	8月末	5,282	△0.5		—	97.2
第96期	(期 末)					
	2019年 9月10日	5,391	1.5		—	97.0
	(期 首)					
第96期	2019年 9月10日	5,351	—		—	97.0
	9月末	5,422	1.3		—	96.0
	(期 末)					
第97期	2019年10月10日	5,382	0.6		—	96.0
	(期 首)					
	2019年10月10日	5,342	—		—	96.0
第97期	10月末	5,527	3.5		—	97.4
	(期 末)					
	2019年11月11日	5,539	3.7		—	95.9
第98期	(期 首)					
	2019年11月11日	5,499	—		—	95.9
	11月末	5,506	0.1		—	97.6
第98期	(期 末)					
	2019年12月10日	5,501	0.0		—	95.9
	(期 首)					
第99期	2019年12月10日	5,461	—		—	95.9
	12月末	5,593	2.4		—	96.6
	(期 末)					
第100期	2020年 1月10日	5,627	3.0		—	96.7
	(期 首)					
	2020年 1月10日	5,587	—		—	96.7
第100期	1月末	5,525	△1.1		—	96.2
	(期 末)					
	2020年 2月10日	5,601	0.3		—	96.4

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

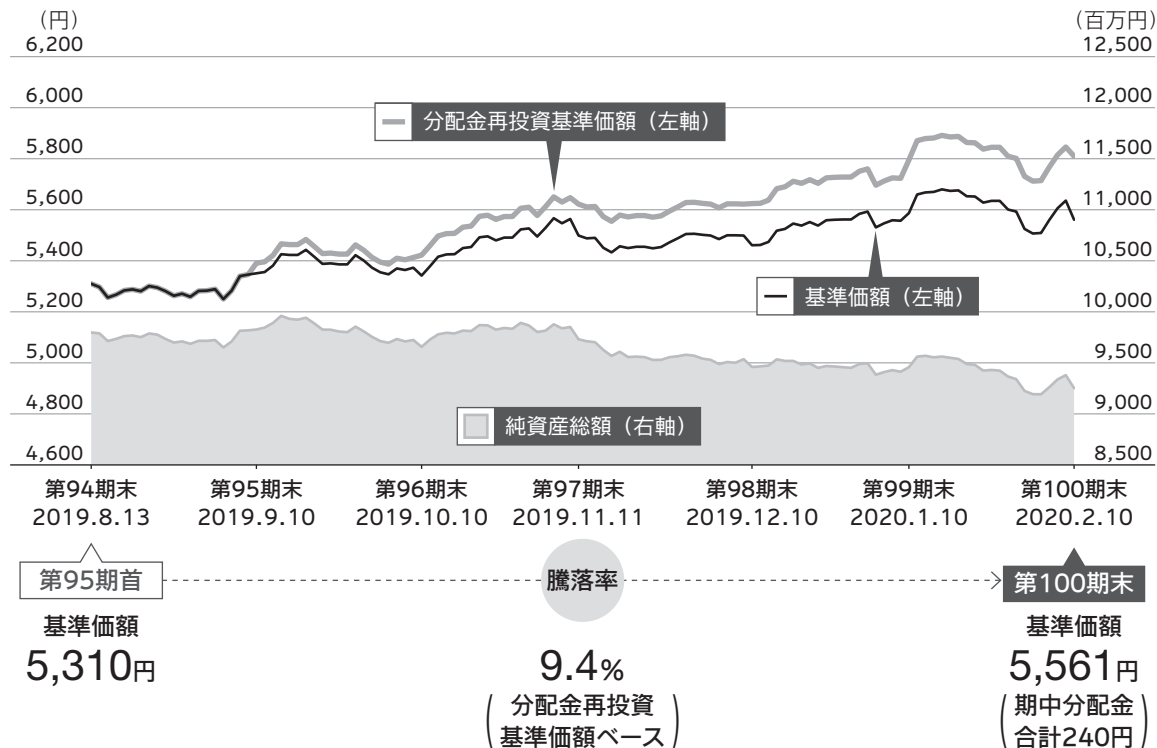
(注2) 債券組入比率はマネーブルマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 投資信託証券組入比率は「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス4)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス4)」の組入比率。

(注4) 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス4)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス4)」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

運用経過

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2019年8月13日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース

主要投資対象である「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス4)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス4)」は、債券部分と為替部分がそれぞれプラス寄与し、分配金再投資基準価額の騰落率はプラスとなりました。

- 本報告書では、ベビーファンド、マザーファンド及びマザーファンド以外のファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド  マザーファンド以外のファンド

● 投資環境

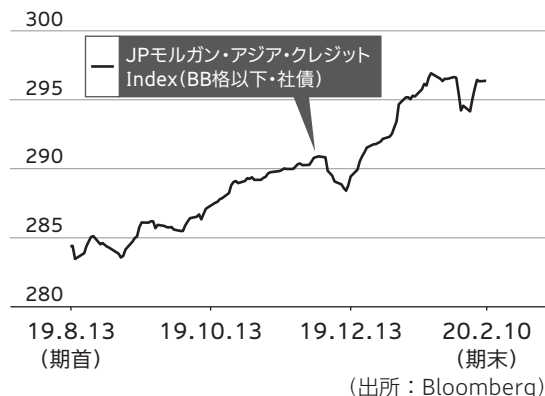
当期のアジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

期初から2020年1月中旬にかけては、米国と中国が通商協議において第一段階となる合意に達したことなどを好感し、米国金利は上昇したものの、クレジットスプレッドが大きく縮小したことからアジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。1月中旬以降は、中国で新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことを主因にリスク回避的な市場環境となったことから米国金利は大幅に低下したものの、クレジットスプレッドが拡大に転じたことからアジア・ハイ・イールド債券市場は上値の重い展開となりました。

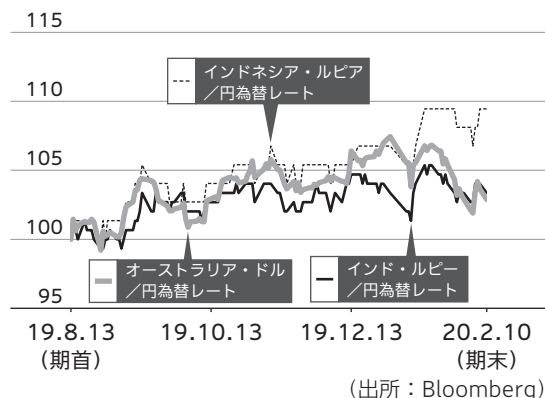
当期の為替市場は、FRB（米連邦準備理事会）が当面は政策金利を据え置く方針を示したことに加え、米中間の通商協議が第一段階の合意に達したことが好感され、円安ドル高となりました。

アジア通貨については、2019年10月末にインドネシアで第2期ジョコ政権が誕生し、安定した政治環境を好感しインドネシアルピアが対円で大きく上昇しました。インドルピー、オーストラリアドルともに対円で上昇しました。

市況の推移



為替レートの推移



注1. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

注2. 為替レートは期首を100として指数化しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）」および「ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）」の投資比率を高位に維持しました。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）

アジア・ハイ・イールド債券利回りが低下（価格は上昇）したことに加えて、クーポン収入等が貢献し、債券部分はプラスに寄与しました。

インドネシアルピア、インドルピー、オーストラリアドルが対円で上昇したことから、為替部分はプラスに寄与しました。

ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）

アジア・ハイ・イールド債券利回りが低下（価格は上昇）したことに加えて、クーポン収入等が貢献し、債券部分はプラスに寄与しました。

インドネシアルピア、インドルピー、オーストラリアドルが対円で上昇したことから、為替部分はプラスに寄与しました。

マネープールマザーファンド

コール等の短期金融資産による運用を行っております。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）」および「ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）」の投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、1万口当たり合計240円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
	2019.8.14 } 2019.9.10	2019.9.11 } 2019.10.10	2019.10.11 } 2019.11.11	2019.11.12 } 2019.12.10	2019.12.11 } 2020.1.10	2020.1.11 } 2020.2.10
当期分配金	40	40	40	40	40	40
(対基準価額比率)	0.742%	0.743%	0.722%	0.727%	0.711%	0.714%
当期の収益	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	6,456	6,476	6,499	6,506	6,516	6,522

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

注4. 投資信託特有の会計処理により、「翌期繰越分配対象額」が基準価額を上回っている場合がありますが、実際に基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

決算期毎にインカム収入[※]を中心に分配を行うことを目指すファンドです。

※ インカム収入とは、債券の利子収入、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

● 今後の運用方針

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース

今後も、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」の投資比率を高位に保つことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）

中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大がマクロ経済環境に与える影響については現時点ではまだ不透明であるものの、事態の深刻度合いや終息にどの程度時間を要するか、そして消費者行動や経済活動への下押し圧力がどの程度になるか次第であるとみています。中長期的には、引き続き米中間の通商協議の進展を注視する必要があるとみているものの、アジア各国の経済基盤は引き続き総じて堅調であり、企業の財務基盤も健全な状況にあることから、アジア・ハイ・イールド債券市場は底堅い推移を予想しています。

ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）

アジア・ハイ・イールド債券市場については、新型コロナウイルスの感染拡大の制圧に向けた道のりは不透明であり、長期化する場合にはクレジットスプレッドが一段と拡大する余地があると考えことから、慎重なポートフォリオ運営を行う方針です。なお、中長期的にはアジア・ハイ・イールド債券市場は底堅い推移を予想しており、当ファンドでは引き続き企業の健全性を注視しつつ、リスクを抑えたポートフォリオ構築を行なっていきます。

マネープールマザーファンド

安全性、流動性の高いコール等の短期金融資産による運用を行う方針です。

● 1万口当たりの費用明細

項目	第95期～第100期 2019.8.14～2020.2.10		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	27円	0.500%	(a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は5,475円です。
(投信会社)	(11)	(0.207)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(15)	(0.277)	購入後の情報提供、運用報告書各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	27	0.502	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

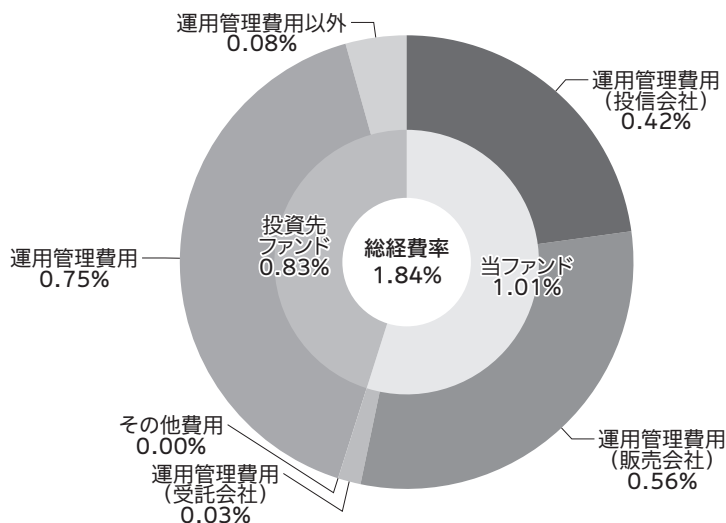
注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.84%**です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.84
①当ファンドの費用の比率	1.01
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.75
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

注5. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

注6. 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

注7. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年8月14日～2020年2月10日)

投資信託証券

銘柄		第95期～第100期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund IV	口 —	千円 —	口 2,736,541	千円 879,000

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第95期～第100期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネーブルマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 19,948	千円 20,000

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年8月14日～2020年2月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年2月10日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第94期末	第100期末		
		口数	口数	評価額	比率
	NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund IV	口 26,238,776	口 23,502,235	千円 7,593,877	% 82.1
	Lion Global Investors Asian High Yield Bond Fund Class 4 (AC)	口 3,579,007	口 3,579,007	千円 1,327,951	% 14.4
	合計	口 29,817,783	口 27,081,242	千円 8,921,828	% 96.4

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託残高

銘柄		第94期末	第100期末	
		口数	口数	評価額
	マネーブルマザーファンド	千口 115,917	千口 95,969	千円 96,199

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 当ファンドは、第100期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2020年2月10日現在)

項 目	第100期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	8,921,828	95.4
マネーブルマザーファンド	96,199	1.0
コール・ローン等、その他	338,462	3.6
投資信託財産総額	9,356,489	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第95期末	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末
	2019年9月10日現在	2019年10月10日現在	2019年11月11日現在	2019年12月10日現在	2020年1月10日現在	2020年2月10日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	9,919,690,308	9,769,790,341	9,891,153,333	9,590,707,099	9,562,219,127	9,356,489,853
コール・ローン等	272,381,464	383,744,781	445,885,006	423,883,572	321,421,775	338,461,385
投資信託受益証券(評価額)	9,531,066,886	9,269,815,194	9,329,049,552	9,070,604,752	9,144,588,174	8,921,828,887
マネーブルマザーファンド(評価額)	116,241,958	116,230,366	116,218,775	96,218,775	96,209,178	96,199,581
(B) 負債	92,976,152	112,735,944	159,923,983	130,865,975	104,654,591	104,309,902
未払収益分配金	73,457,012	72,315,805	70,781,905	69,288,097	67,716,627	66,555,234
未払解約金	12,092,557	32,344,112	80,442,320	53,887,405	28,791,790	29,609,850
未払信託報酬	7,409,790	8,057,483	8,680,540	7,670,077	8,123,386	8,070,901
未払利息	694	683	—	406	836	584
その他未払費用	16,099	17,861	19,218	19,990	21,952	73,333
(C) 純資産総額(A-B)	9,826,714,156	9,657,054,397	9,731,229,350	9,459,841,124	9,457,564,536	9,252,179,951
元本	18,364,253,169	18,078,951,315	17,695,476,312	17,322,024,307	16,929,156,830	16,638,808,537
次期繰越損益金	△ 8,537,539,013	△ 8,421,896,918	△ 7,964,246,962	△ 7,862,183,183	△ 7,471,592,294	△ 7,386,628,586
(D) 受益権総口数	18,364,253,169口	18,078,951,315口	17,695,476,312口	17,322,024,307口	16,929,156,830口	16,638,808,537口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,351円	5,342円	5,499円	5,461円	5,587円	5,561円

(注1) 当作成期間(第95期～100期)における期首元本額18,452,117,786円、期中追加設定元本額285,788,134円、期中一部解約元本額2,099,097,383円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額
第95期0.5351円、第96期0.5342円、第97期0.5499円、第98期0.5461円、第99期0.5587円、第100期0.5561円

(注3) 期末における元本の欠損金額
第95期8,537,539,013円、第96期8,421,896,918円、第97期7,964,246,962円、第98期7,862,183,183円、第99期7,471,592,294円、第100期7,386,628,586円

○損益の状況

項 目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
	2019年8月14日～ 2019年9月10日	2019年9月11日～ 2019年10月10日	2019年10月11日～ 2019年11月11日	2019年11月12日～ 2019年12月10日	2019年12月11日～ 2020年1月10日	2020年1月11日～ 2020年2月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	119,170,071	116,333,915	114,009,090	87,372,578	86,187,663	84,715,863
受取配当金	119,184,369	116,349,051	114,024,554	87,387,282	86,204,999	84,732,795
支払利息	△ 14,298	△ 15,136	△ 15,464	△ 14,704	△ 17,336	△ 16,932
(B) 有価証券売買損益	37,023,694	△ 53,432,094	243,697,423	△ 77,185,044	201,249,387	△ 53,768,324
売買益	37,000,531	1,519,949	249,220,317	1,307,948	203,979,114	1,670,879
売買損	23,163	△ 54,952,043	△ 5,522,894	△ 78,492,992	△ 2,729,727	△ 55,439,203
(C) 信託報酬等	△ 7,425,889	△ 8,075,344	△ 8,699,402	△ 7,690,067	△ 8,145,338	△ 8,144,234
(D) 当期損益金(A+B+C)	148,767,876	54,826,477	349,007,111	2,497,467	279,291,712	22,803,305
(E) 前期繰越損益金	△ 7,292,550,325	△ 7,092,186,909	△ 6,942,194,768	△ 6,479,127,351	△ 6,384,317,585	△ 6,055,781,541
(F) 追加信託差損益金	△ 1,320,299,552	△ 1,312,220,681	△ 1,300,277,400	△ 1,316,265,202	△ 1,298,849,794	△ 1,287,095,116
(配当等相当額)	(9,700,304,163)	(9,553,322,186)	(9,355,557,457)	(9,172,533,547)	(8,968,503,725)	(8,818,218,368)
(売買損益相当額)	(△11,020,603,715)	(△10,865,542,867)	(△10,655,834,857)	(△10,488,798,749)	(△10,267,353,519)	(△10,105,313,484)
(G) 計(D+E+F)	△ 8,464,082,001	△ 8,349,581,113	△ 7,893,465,057	△ 7,792,895,086	△ 7,403,875,667	△ 7,320,073,352
(H) 収益分配金	△ 73,457,012	△ 72,315,805	△ 70,781,905	△ 69,288,097	△ 67,716,627	△ 66,555,234
次期繰越損益金(G+H)	△ 8,537,539,013	△ 8,421,896,918	△ 7,964,246,962	△ 7,862,183,183	△ 7,471,592,294	△ 7,386,628,586
追加信託差損益金	△ 1,320,299,552	△ 1,312,220,681	△ 1,300,277,400	△ 1,316,265,202	△ 1,298,849,794	△ 1,287,095,116
(配当等相当額)	(9,700,304,155)	(9,553,322,177)	(9,355,557,447)	(9,172,533,530)	(8,968,503,719)	(8,818,218,361)
(売買損益相当額)	(△11,020,603,707)	(△10,865,542,858)	(△10,655,834,847)	(△10,488,798,732)	(△10,267,353,513)	(△10,105,313,477)
分配準備積立金	2,156,520,399	2,155,714,874	2,146,181,175	2,098,065,309	2,063,178,212	2,034,788,087
繰越損益金	△ 9,373,759,860	△ 9,265,391,111	△ 8,810,150,737	△ 8,643,983,290	△ 8,235,920,712	△ 8,134,321,557

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程(2019年8月14日～2020年2月10日)は以下の通りです。

項 目	2019年8月14日～ 2019年9月10日	2019年9月11日～ 2019年10月10日	2019年10月11日～ 2019年11月11日	2019年11月12日～ 2019年12月10日	2019年12月11日～ 2020年1月10日	2020年1月11日～ 2020年2月10日
a. 配当等収益(費用控除後)	113,496,378円	108,250,456円	111,230,004円	79,675,843円	83,739,685円	76,565,154円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	9,700,304,155円	9,553,322,177円	9,355,557,447円	9,172,533,530円	8,968,503,719円	8,818,218,361円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	2,116,481,033円	2,119,780,223円	2,105,733,076円	2,087,677,563円	2,047,155,154円	2,024,778,167円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	11,930,281,566円	11,781,352,856円	11,572,520,527円	11,339,886,936円	11,099,398,558円	10,919,561,682円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	6,496円	6,516円	6,539円	6,546円	6,556円	6,562円
g. 分配金	73,457,012円	72,315,805円	70,781,905円	69,288,097円	67,716,627円	66,555,234円
h. 分配金(1万口当たり)	40円	40円	40円	40円	40円	40円

○分配金のお知らせ

	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
1万円当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	40円	40円

<分配金をお支払いする場合>

・分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

<分配金を再投資する場合>

・お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

<課税上の取扱いについて>

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者に対する課税
 税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

○お知らせ

- ・投資信託の監査にかかる費用を適切に反映させるため、2020年1月から、監査費用の徴収方法を変更することと致しました。

<参考情報>組入れ投資信託証券の内容

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	<p>■日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (Nikko AM Asia Limited Investment Series-Nikko AMアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド クラス4)</p>			
形態	ケイマン籍外国投資信託 (円建て)			
運用の基本方針	<p>①主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。 ②原則として以下の通貨で為替取引 (対米ドル等) を行います。</p> <table border="1" data-bbox="399 374 1259 409"> <tr> <td>アジア・オセアニア</td> <td>クラス4</td> </tr> </table>		アジア・オセアニア	クラス4
アジア・オセアニア	クラス4			
主な投資制限	<p>①有価証券の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ③投資信託証券への投資は行いません。</p>			
決算日	毎年12月31日			
信託報酬等	<p>純資産総額に対して年率0.77% ※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。 ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等 (監査費用、弁護士費用等)、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。</p>			
申込・解約手数料	ありません。			
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド			

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

■ 包括利益計算書

(2018年1月1日から2018年12月31日まで)
アメリカドル

収益	
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益／損失 (△)	△20,693,532
為替差損益	△ 24,349
その他収益	—
収益合計	△20,717,881
費用	
支払利息	△ 7,782
投資運用報酬	△ 1,577,421
投資運用報酬 払戻料	89,455
管理報酬	△ 91,857
監査報酬	△ 43,639
保管報酬	△ 56,578
名義書換費用	—
取引費用	—
受託者報酬	△ 20,485
その他営業費用	△ 30,482
営業費用合計	△ 1,738,789
税引前・分配前利益 (損失)	△22,456,670
税金	—
税引後・分配前利益 (損失)	△22,456,670
分配金	△32,569,899
税引後・分配後利益 (損失)	△55,026,569
営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少	△55,026,569

主要投資対象のひとつである投資信託証券「Nikko AM Asia Limited Investment Series Nikko AM アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表を委託会社にて翻訳したものです。

■ 組入上位銘柄

(2018年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
KWG GRP HLDGS 8.975% 14/01/19 REGS USD	中国	8.975%	2019/01/14	3.8%
CHINA SCE GRP PROPERTY HLDGS 10% 02/07/20 USD	中国	10.000%	2020/07/02	3.2%
EXPORT-IMPORT BANK KOREA FRN 01/11/2022 USD	韓国	3.466%	2022/11/01	3.0%
POWERLONG REAL ESTAT 5.95% 19/07/20 USD	中国	5.950%	2020/07/19	2.7%
SUNAC CHINA HLDGS 8.625% 27/07/20 USD	中国	8.625%	2020/07/27	2.5%
YANGO JUSTICE INTL 9.5% 23/09/19 USD	中国	9.500%	2019/09/23	2.5%
XINHU ZHONGBAO 6% 01/03/20 USD	中国	6.000%	2020/03/01	2.3%
CENTRAL CHINA REAL ESTATE 8% 28/01/20 REGS USD	中国	8.000%	2020/01/28	2.2%
VEDANTA RESOURCES 8.25% 07/06/21 REGS USD	インド	8.250%	2021/06/07	2.1%
CHINA SCE GRP PROPERTY HLDGS 7.45% 17/04/21 USD	中国	7.450%	2021/04/17	2.1%

「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント アジア リミテッドが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	■ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (Lion Global Asian High Yield Bond Fund-Lion Global Investors アジ ア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド クラス4)	
形態	ケイマン籍外国投資信託 (円建て)	
運用の基本方針	①主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。 ②原則として以下の通貨で為替取引 (対米ドル等) を行います。	
	アジア・オセアニア	クラス4
主な投資制限	①有価証券の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ③投資信託証券への投資は行いません。	
決算日	毎年12月31日	
信託報酬等	純資産総額に対して年率0.77% ※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。 ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等 (監査費用、弁護士費用等)、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。	
申込・解約手数料	ありません。	
投資顧問会社	ライオングローバルインベスターズ	

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

■ 包括利益計算書

(2018年1月1日から2018年12月31日まで)
アメリカドル

収益	
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益／損失 (△)	△ 6,327,925
為替差損	△ 41,652
受取利息	42,042
その他収益	3,750
収益合計	△ 6,323,785
費用	
投資運用報酬	331,168
管理報酬	20,491
監査報酬	32,632
保管報酬	9,743
名義書換費用	7,001
受託者報酬	12,000
その他営業費用	13,787
営業費用合計	426,822
営業利益	△ 6,750,607
分配金	△ 8,238,970
税引前・分配後損失	△14,989,577
税金	—
税引後・分配後損失	△14,989,577
営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少	△14,989,577

主要投資対象のひとつである投資信託証券「Lion Global Asian High Yield Bond Fund-Lion Global Investors アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表を委託会社にて翻訳したものです。

■ 組入上位銘柄

(2018年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
VEDANTA RESOURCES PLC 6.37% DUE 30/07/2022	インド	6.370%	2022/7/30	5.7%
MOON WISE GLOBAL 9% DUE 31/12/2199	中国	9.000%	永久債	4.9%
KWG GROUP HOLDINGS 8.97% DUE 14/01/2019	中国	8.970%	2019/1/14	3.9%
POWERLONG REAL ESTATE 5.95% DUE 19/07/2020	中国	5.950%	2020/7/19	3.5%
PB INTERNATIONAL BV 7.62% DUE 26/01/2022	インドネシア	7.620%	2022/1/26	3.1%
MEDCO STRAITS SERV PTD 8.5% DUE 17/08/2022	インドネシア	8.500%	2022/8/17	2.9%
SHIMAO PROPERTY HLDGS 8.37% DUE 10/02/2022	中国	8.370%	2022/2/10	2.5%
CFLD CAYMAN INVESTMENT 6.5% DUE 21/12/2020	中国	6.500%	2020/12/21	2.5%
CHINA CITIC BANK INTL LT 7.25% DUE 31/12/2199	香港	7.250%	永久債	2.5%
YUZHOU PROPERTIES CO LTD 7.9% DUE 11/05/2021	中国	7.900%	2021/5/11	2.4%

「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社であるライオングローバルインベスターズが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。

マネープールマザーファンド

運用報告書

第8期（決算日 2019年8月13日）

＜計算期間 2018年8月11日～2019年8月13日＞

マネープールマザーファンドの第8期の運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債等
主な組入制限	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得した株券に限り、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
4期(2015年8月10日)	円		%	%	百万円
5期(2016年8月10日)	10,024		0.0	93.8	2,134
6期(2017年8月10日)	10,027		0.0	84.1	1,549
7期(2018年8月10日)	10,030		0.0	85.2	1,412
8期(2019年8月13日)	10,032		0.0	75.1	1,339
	10,028		△0.0	—	248

(注1) 基準価額は1万口当たり（以下同じ）。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
				騰 落	率		
	(期 首)		円		%		%
	2018年	8月10日	10,032		—		75.1
	8月末		10,033		0.0		67.6
	9月末		10,031		△0.0		70.9
	10月末		10,028		△0.0		78.8
	11月末		10,035		0.0		—
	12月末		10,035		0.0		—
	2019年	1月末	10,034		0.0		—
	2月末		10,033		0.0		—
	3月末		10,032		0.0		—
	4月末		10,031		△0.0		—
	5月末		10,030		△0.0		—
	6月末		10,030		△0.0		—
	7月末		10,029		△0.0		—
	(期 末)						
	2019年	8月13日	10,028		△0.0		—

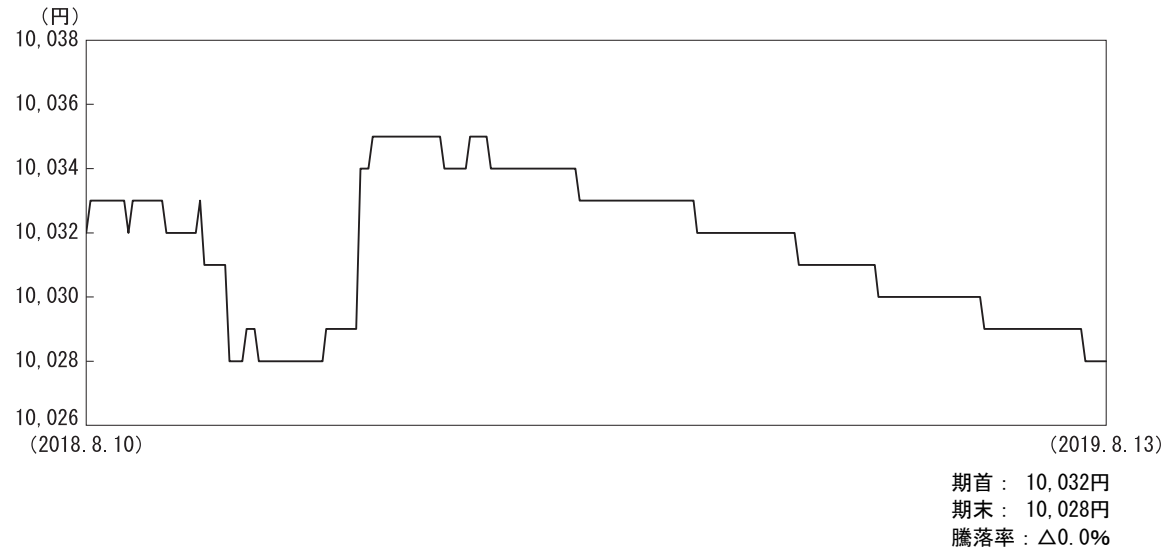
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

○運用経過

(2018年8月11日～2019年8月13日)

■基準価額の推移



■基準価額の主な変動要因

短期金融資産の利回りがマイナス圏で推移したことから、当期末の基準価額は期首の水準を小幅に下回りました。

■投資環境

日銀によるマイナス金利政策のもと、短期金融資産の利回りは期を通じてマイナス圏内で推移しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドは、期中の解約による純資産規模縮小に伴い、保有社債を全額売却しました。期末時点では、コール等の短期金融資産による運用を行っております。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■今後の運用方針

安全性、流動性の高いコール等の短期金融資産による運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年8月11日～2019年8月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 2 (2)	% 0.020 (0.020)	(a) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	2	0.020	
期中の平均基準価額は10,031円です。			

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2018年8月11日～2019年8月13日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	特殊債券	千円 —	千円 100,169
	社債券 (投資法人債券を含む)	402,893	906,453 (400,000)

(注1) 金額は受渡代金 (経過利子分は含まれておりません)。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券 (投資法人債券を含む) には新株予約権付社債 (転換社債) は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年8月11日～2019年8月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年8月13日現在)

2019年8月13日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2019年8月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 248,417	% 100.0
投資信託財産総額	248,417	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年8月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	248,417,526
コール・ローン等	248,417,526
(B) 負債	639
未払利息	639
(C) 純資産総額(A-B)	248,416,887
元本	247,715,866
次期繰越損益金	701,021
(D) 受益権総口数	247,715,866口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,028円

(注1) 信託財産に係る期首元本額1,335,535,026円、期中追加設定元本額3,039,991円、期中一部解約元本額1,090,859,151円

(注2) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドアジア通貨コース	115,917,390円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド高金利通貨コース	38,572,960円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドブラジルレアルコース	60,227,220円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド日本円コース	3,244,277円
アジア・ハイイールド債券ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなしコース	5,050,983円
アジア・ハイ・イールド債券ファンド(毎月分配型)円ヘッジコース	10,772,334円
日米4資産スマートバランス	6,346,443円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド米ドルコース	2,856,955円
日米4資産スマートバランス(DC年金)	4,727,304円

(注3) 期末における1口当たりの純資産総額 1.0028円

○損益の状況 (2018年8月11日～2019年8月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,778,456
受取利息	3,014,227
支払利息	△ 235,771
(B) 有価証券売買損益	△2,604,200
売買益	71,000
売買損	△2,675,200
(C) 保管費用等	△ 112,486
(D) 当期損益金(A+B+C)	61,770
(E) 前期繰越損益金	4,320,091
(F) 追加信託差損益金	10,009
(G) 解約差損益金	△3,690,849
(H) 計(D+E+F+G)	701,021
次期繰越損益金(H)	701,021

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。